

安全データシート

SDS No.: TN016J-001-05

作成日: 2015年3月2日

改訂日: 2018年5月28日

トナー

1. 製品名及び会社情報

製品名 : トナー (TS0780AJP, TS0780CJP, TS0780BJP, TS5180AJP, TS5180BJP,
TS8200AJP, TS8200BJP, TS8230AJP, TS2000AJP, TS2000BJP, DV8230AJP)

会社名 : 村田機械株式会社

住所 : 〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136

担当部門 : 情報機器事業部品質保証グループ

電話番号 : 075-672-8279

FAX番号 : 075-672-5046

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : GHS分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

GHS ラベル要素 : なし

他の危険有害性 : 粉塵爆発のおそれ

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:混合物

成分及び含有量:

成分名	含有量	CAS No.	化審法	労働安全衛生法	
			官報公示番号	官報公示番号	通知対象物質
ポリエステル樹脂	75-85%	(非開示)	既存	既存	非該当
スチレンアクリル共重合体	5-10%	(非開示)	既存	既存	非該当
カーボンブラック	3-8%	1333-86-4	対象外	対象外	通知物質*
ワックス	1-5%	(非開示)	収載あり	収載あり	非該当
非晶質シリカ	1-2%	67762-90-7	(1)-548	既存	非該当

*「15. 適用法令」参照

国連分類:該当せず

国連番号:該当せず

- | | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | :直ちに空気の新鮮な場所に移動、更にうがいを行う。
呼吸困難を伴っている場合には、人工呼吸などの応急処置をとり、直ちに医療処置を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | :きれいな水で洗い流した後、石鹼を使い洗浄する。 |
| 目に入った場合 | :直ちにきれいな水で最低 15 分以上洗浄し、眼科医にて治療のこと。 |
| 飲み込んだ場合 | :直ちにきれいな水で口内を洗浄し、医療処置を受ける。 |

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 使用可能な消火剤 | : 噴霧水、炭酸ガス、粉末 |
| 使ってはならない消火剤 | : 特になし |
| 特有の危険有害性 | : 空中に飛散した場合、粉塵爆発のおそれあり。 |
| 特有の消火方法 | : 粉末の飛散を促進させないよう注意する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 蒸気・煙の吸入は避けること |

- 人体に対する注意事項: 作業時は必要に応じ防塵マスク等の保護具を使用。
環境に対する注意事項: 下水道や河川への漏出を防ぐ。
回収・中和方法 : ほうきなどで飛散しないようにかきあつめ、濡れ雑巾などで拭き取る。
掃除機等を用いる場合、必ず1 μ m未満の微粉末対応かつ防爆仕様の機器を使用すること。

- | | |
|-----|--|
| 取扱い | :防塵マスクなどの保護具を使用して作業を行うこと。
粉塵が高濃度になると考えられる場所では粉塵爆発の危険があるため、高温体、火花、静電気等の着火源になるものを近づけないこと。 |
| 保管 | :屋内保管。直射日光及び高温多湿の場所を避けること。
気密容器に入れること。 |

- | | | | |
|---------|--------------------------|-------|---|
| 設備対策 | : 粉塵の吸入を防ぐため、局所排気装置をつける。 | | |
| 管理濃度 | : 該当しない。 | | |
| 許容濃度 | : 日本産業衛生学会 | 第3種粉塵 | (総粉塵) 8mg/m ³
(吸入性粉塵) 2mg/m ³ |
| | ACGIH | 粒子状物質 | (総粉塵) 10mg/m ³
(吸入性粉塵) 3mg/m ³ |
| 保護具 | | | |
| 呼吸器の保護具 | : 防塵マスクを使用すること。 | | |
| 眼の保護具 | : 必要に応じて保護眼鏡の着用が望ましい。 | | |
| 手の保護具 | : 必要なし | | |
| 皮膚及び身体 | : 必要なし | | |

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	: 固体
形状	: 粉体
色	: 黒色
臭い	: かすかな臭い
融点(流動点)	: 約150℃
沸点	: 情報なし
引火点	: 情報なし
爆発特性	: 高濃度で粉塵爆発の恐れがある。(爆発範囲のデータなし)
蒸気圧	: 該当しない
比重	: 1.0－1.3
溶解度	: 水に不溶、トルエン・キシレンに部分的に可溶
自然発火温度	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性／反応性	: 安定
避けるべき条件	: 特になし
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	: 吸入毒性→LC ₅₀ >1.45mg/l (実質上無毒である。) * ※この値はテスト可能な最大粉塵濃度 経口毒性→LD ₅₀ >2000mg/kg (実質上無毒である。) *
皮膚刺激性	: 刺激性無し *
眼球刺激性	: 刺激性無し *
皮膚感作性	: 感作性無し *
生殖細胞変異原生	: AMES 試験にて陰性
発がん性	: カーボンブラックは国際がん研究機構(IARC)によって、 「グループ 2b (ヒトに対して発癌性があるかもしれない)」に分類される。しかし、カーボンブラックを含有するトナーに対するラットを用いた慢性吸入曝露試験では、発癌性は認められていない。
生殖毒性	: 生殖毒性成分を含有せず
特定標的臓器毒性 (単回曝露)	: データ無し
特定標的臓器毒性 (反復曝露)	: カーボンブラックを含有したトナーは、ラットを用いた慢性吸入曝露試験で、高濃度 (16mg/m ³)、中濃度(4mg/m ³)の曝露環境において、肺に軽度の繊維症が観察されたが、低濃度(1mg/m ³)では特別な変化は見られなかった。本製品の意図された使用方法での通常使用時 (電子写真機器において)、排出されるトナー濃度は 1mg/m ³ を大幅に下回っており、健康上の影響はないと判断できる。 本製品を機器への充填作業や使用済み容器の廃棄作業等で多量に取り扱う際は、項目 7・8 に従って曝露濃度を管理する必要がある。
吸引性呼吸器有害性	: データ無し * 類似成分を持つ当社製品のデータによる

12. 環境影響情報

生態毒性	: データ無し
残留性／分解性	: データ無し
生態蓄積性	: データ無し
土壌中の移動性	: データ無し
オゾン層への有害性	: データ無し

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として、関係法令を遵守して焼却または埋設処理を行う。
粉塵爆発のおそれがあるため、トナー、トナーの入っていた容器、トナーの多量に付着した作業用具等を火中に投じないで下さい。
「7. 取扱及び保管上の注意」も参照のこと。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
輸送上の注意	: 水漏れ、転倒、落下、衝撃を加えたりする等は、破袋の可能性があるので、粗暴な取扱いをしないこと。直射日光及び高温の場所を避ける。 （「7. 取扱および保管上の注意」も参照のこと）

15. 適用法令

日本:

労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき有害物（第57条の2） カーボンブラック
消防法	: 指定可燃物（合成樹脂類）に該当、3000kg以上。
その他国内適用法令なし	

米国:

TSCA	: 全ての原料はTSCAインベントリーに記載されています。
SNUR	: 該当無し

16. その他の情報

この安全データシートは以下の規格に基づいて作成しています:

JIS Z 7253:2012	GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 -ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
JIS Z7252-2009	GHSに基づく化学物質等の分類方法

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
法改正や製品の改良により、SDSを改訂する場合がございますので、改訂日が2年以上経過している場合は、最新版であるかどうかご確認ください。